

## 茨城県総合がん対策推進計画—第五次計画—の骨格案

総論	方向性	<p>○75歳未満のがんの年齢調整死亡率が全国平均よりも高い状況。</p> <p>○本県は、全国平均と比較し、早期発見割合が低い。</p> <p>⇒死亡率が高い肺・胃・大腸がんの早期発見、早期治療を促進。</p>
	スローガン	<p>○国計画＜第4期＞「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」</p> <p>○県計画＜第五次＞（今後検討） ＜第四次＞「がんを知り がんと向き合う」～県民の参療を目指して～</p>
	計画期間	令和6年度～令和11年度(6年間)
	全体目標	<p>＜第五次（案）＞</p> <p>○科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実</p> <p>○患者本位で持続可能ながん医療の提供</p> <p>○がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</p>
	重点的に取り組むべき課題	<p>○県民の健康意識の向上によるがんの早期発見、早期治療の促進</p> <p>○がん医療提供体制の整備</p> <p>○生活支援体制の整備</p>
	その他の取組	○感染症、災害時等の対策      ○デジタル化の推進
茨城県がん検診を推進し、がんと向き合うための県民参療条例		
各論	第1章 がん教育とがん予防	<p>○がんに関する正しい知識の普及</p> <p>○がん予防対策の推進</p> <p>○生活習慣の実態把握と計画の評価</p>
	第2章 がん検診と精度管理	<p>○検診受診率の向上</p> <p>○検診精度の向上</p> <p>○科学的根拠に基づくがん検診の実施</p>
	第3章 がん医療提供体制と生活支援	<p>I がん医療提供体制の整備</p> <p>○がん医療連携体制の構築（がん医療提供体制の均てん化・集約化、がんゲノム医療、ライフステージに応じたがん医療、妊孕性温存療法、社会連携に基づくがん対策・患者支援）</p> <p>○がん治療体制の充実とチーム医療の推進（手術療法・放射線療法・薬物療法・免疫療法の治療体制充実、チーム医療、がんのリハビリテーション、支持療法等）</p> <p>II がんと診断された時からの緩和ケアの推進</p> <p>○緩和ケア提供体制</p> <p>○緩和ケア医療人材の育成</p> <p>○県民への普及啓発</p> <p>III 生活支援体制の整備</p> <p>○がんに関する相談支援体制の整備（AYA世代の相談支援等）</p> <p>○がん患者の離職防止や再就職のための就労支援体制の整備</p> <p>○生活者の視点に立った支援体制の整備（アピアランスケア、がん診断後の自殺対策等）</p>
	第4章 がん登録とがん研究	<p>○院内がん登録の推進</p> <p>○がん登録情報の活用</p> <p>○がん研究の推進</p>